

## 町田市議会・志政クラブ報告

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



インターン生を同行

## 国の予算と法律の関係

政府が提出した予算案の動向はさておき、その必要とする予算関連法案の成立が危ぶまれています。民主党が衆議院で絶対的な過半数を占めているので、予算案は参議院で否決されても自然成立が可能ですが、関連法案が成立しないと夏前にも予算の執行に支障を来すようになり、行政の停滞が次々と起きることになります。

野党が観念して国政の停滞を避けるために予算関連法案の修正に応じるか、内閣が総辞職をして別の総理大臣が新たな方針を出すか、衆議院を解散して新たな国政の勢力関係を構築しなおすかの3つの選択枝しかありません。今後、国政は一瞬の瞬きの間に激変するかも知れません。

## 自治体の予算と条例の関係

他方、町田市政においてはこの関係はどうでしょうか？ 平成 23 年度の予算案は他の条例案などと共に、第 1 定例会（2 月 28 日より）に上程された段階ですが、A 新聞の多摩版記事に寄ればもう成立したと読み取れる記述になっています。

予算案の中には大きな支出を伴う事業もあれば、条例案には新たな負担を求めるものや、値上げの内容を持った条例改正案も含まれています。市の財政が切迫していると言うのであれば、新たな事業取り組みには慎重であらねばならないでしょう。また、公共施設の利用サービスは受益者負担が原則だとしても、それを新たに設けたり、著しい値上げ

措置を強いる前に、議会や行政自身の身を切ることが先決ではないかとする住民意見を無視しては、政治への信頼はあり得ないものと思っています。

## 行政の施策と議会の責任

国会と同じく、地方自治体の議会も予算案や条例案の内容を議論し、最終的にその可否を採決します。議員と議会の役割は、住民のためにはどのような結論が正しいか、その視点で結論を出すことでしょう。この点において、どうぞ、審議の成り行き、採決のプロセスにご注目下さい。あわせて、議員の一般質問（今期、32 名が質問します）にもご注目下さい。（なお、吉田つとむは副議長職のため、一般質問を出来ないのですがご了承下さい）

## 第 25 回セミナー開催案内

日時：3 月 20 日（日）PM1:30～3:30  
場所：町田市民フォーラム 4F 第 1 集会室 B  
所在地：町田市原町田 4-8-9（小田急町田駅 徒歩 8 分 JR 町田駅徒歩 3 分）

\*町田市内で一番背が高いビルの 4 階  
テーマ：「もう これで転ばない!! 『接骨院 院長が教える 転ばぬ先の転倒予防教室』  
講師：柎屋富治郎先生（町田市接骨師会会長）  
（柔道整復師、マサヤ接骨院 院長）  
主催：町田市議会議員 吉田つとむ事務所  
\*時間内で市議会報告も行います。  
\*入場は無料です。また、飲食はありません。  
会場内の席は、事前申し込み優先です。

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

## 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ記事



双方向の情報交流

## 公立小中学校の式典と君が代

3月～4月には、市内の公立小中学校において卒業式と入学式がそれぞれ行われます。会場には国旗である日の丸が掲げられ、式次第の冒頭ではピアノ伴奏に従って国歌(君が代)の斉唱が行われることになっています。

ただし、一部の学校によってはそれらの次第に混乱を来たしているものがあります。

すなわち、国歌斉唱やそれに伴う教師のピアノ演奏は、教師に義務化されるものではないとする考えです。現に、東京都内においては、その是非を巡って裁判が続いており、この間、ようやく、それは思想の自由を侵すものではなく、職務の一環だとする最高裁の判断が下りました。ただし、まだまだ裁判中の事案もあり、全てが決着済みとはいえない状況です。その理由は、そのことに偏狭にこだわっている教職者がいるためです。

少なくとも町田市内においては、平穏な中に卒業生を送ること、新入生を迎えることが出来るように見守りたいと思っています。



私は、最寄りの学校の卒業式・入学式に出席し、卒業・入学と言う児童・生徒にとって重要な節目を祝福させていただく予定です。

## 「市民企画☆議会報告会」に出席

「まちだ市民情報センター」というグループが主催した、「市民企画☆議会報告会」に出席しました。その会では、議会の評価が請願者の意見陳述、議会報告会、議員間の自由討議の3点によると考えました。当日の会議の運営方法は、それらの問題に対して、出席議員の各見解を求めるものでした。他に、複数の会派の議員が参加していましたが、私は自分が属する「会派」の見解ではなく、立場上も、一議員としての立場で各問題に対して自分の意見を述べました。

町田市議会は請願者の意見陳述を実施していることで評価が高く、議会主催の議会報告会をやっていないことでは低く見られていました。その判断に対して、私は、町田市議会議員がこうした住民団体が主催する会に出席することを拡大することが議会の情報公開の手法として相応しいと思っていると述べました。理由は、形式より実益的な住民との意見交換が大切だからだとしました。

また、議会の情報公開の現状の改善手段では、議会の「会派」(たとえば志政クラブなど)の定例議会に関する総括意見を、市議会のHPや議会便りに掲載して公表する方法を示しました。その理由は、現在の記録文書や記事内容が、各委員長による議案の審議経過と結果報告、及び議員の一般質問が中心で、議会の会議全容に関して総括的な表現をしたものが無く、住民の皆さんが事態をシンプルに把握することがなかなか困難な状態にあるからだと説明しました。

掲載記事、あるいはご関心事は、下記の FAX かもしくはメールまでご送信先ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

\*News 第 27 期研修生の応募が 1 名(佐藤裕介さん 明治学院大学心理学部 1 年生) ありました。(詳細は次回掲載) 他にもインターン希望者を募集中です。問い合わせ先は下記 Mail

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)